

# 仕様書

## 1 品目

全身麻酔システム 一式

## 2 購入目的

高度化する麻酔管理に伴い、患者の安全を確保する為の正確な呼吸管理を可能とするベンチレータ、安全な状態を確保可能なモニタリング機能などを有する麻酔器が重要となっている。さらに大気汚染の原因となる麻酔ガス(揮発性吸入麻酔薬、亜酸化窒素)の使用を必要最小限に抑え、かつ麻酔薬使用量を抑制可能な低流量麻酔を、安全に行えることも重要である。

患者を確実に換気し、不意のガス及び電源遮断時にも安全に対応する全身麻酔システムを用いる事により患者の安全性をより確保できる。

## 3 基本構成

- |             |    |
|-------------|----|
| 1) 麻酔器本体    | 一式 |
| 2) ベンチレータ   | 一式 |
| 3) 患者システム   | 一式 |
| 4) 気化器      | 二式 |
| 5) 余剰ガス排出装置 | 一式 |

## 4 機器仕様

### 4-1 麻酔器本体

- (1) 酸素、笑気、空気の 3 ガス方式であること
- (2) 最低酸素濃度維持機構を有すること
- (3) 酸素・笑気及び麻酔薬節減の為、低流量・極低流量麻酔が可能であること
- (4) 高さ 1510mm 以下、幅 920mm 以内でオペ室内の場所を取らないこと
- (5) 生体情報モニタを容易に搭載可能なこと
- (6) 停電に備え、バックアップバッテリーを標準装備すること

### 4-2 ベンチレータ

- (1) 電気駆動であること
- (2) 新生児から成人まで使用できるよう、一回換気量は 20～1400ml の範囲で設定できること
- (3) 小児使用時、ベローズやセンサの交換が必要無いこと

- (4) 手動換気／自発呼吸、VCモードを有すること。必要に応じてPCモード、PS モード、SIMV/PS モードの付加が可能なこと
- (5) 換気モードの切り替え動作は 2 ステップ以下であること
- (6) 正確なコンプライアンス補正機能を有すること
- (7) 自動リークテストを有し、リーク量を表示する機能を有すること
- (8) デスフルレン使用時の換気量補正機能を有すること
- (9) ベローズの自重による PEEP のかからない構造であること
- (10) ガス供給がなくても患者を換気できる機能を有すること

#### 4-3 患者システム

- (1) 麻酔器本体から着脱可能で清掃が容易であること
- (2) 換気量はホットワイヤー方式で正確に測定できること
- (3) カニスターは 1.2L 以上あること
- (4) 低流量麻酔に対応できるよう、回路内容量は 2.5L 以下であること
- (5) 麻酔ガスモニタのサンプルガスを呼吸回路に戻す機構を有すること

#### 4-4 気化器

- (1) 安定した濃度が得られるソリッドメタル方式による内部自動温度補正機能を有すること
- (2) 低流量領域において精度が高く濃度が安定していること
- (3) オーバーホールの必要が無いこと
- (4) 薬液容量はセボフルレン 300ml 以上、デスフルレン 360ml 以上であること

#### 4-5 余剰ガス排出装置

- (1) 患者に陰圧のかからないオープンリザーバタイプであること

#### 4-6 予備用酸素ポンプ

- (1) 麻酔器後面に収納可能であること